**2011年度　デジタルハリウッド大学「リサーチ＆プランニング」　課題（必須）**

**『わたしのデジタル日本再創造プロジェクト企画書』**

2011年3月11日の東日本大震災は私たちの社会に大きな破壊と悲しみをもたらしました。

そして私たちはいま大きな課題の群れと対峙しています。

地震と津波で破壊された街の復興、傷ついた被災者の心のケア、原発をどうするか、代替エネルギーはあるか、飛散した放射線の脅威、切迫する節電の必要性、経済停滞からの脱出、個人の生き方やつながりの見直し、など、私たちの目の前には問題が山積みになりました。

しかしピンチはチャンスにもなるもの。これを機会に日本を再創造するチャンスだととらえることもできます。みなさんは授業『リサーチ＆プランニング』で、情報の収集・整理・分析・活用の方法論を学びました。情報を集め、ブレストし、企画を立案し、プレゼンする。身につけた知識をこの課題で実践してください。

**課題：ITを活用して日本を再創造する、ユニークな視点の企画書をつくる**

企画の中身は、Webサービスでも、お店でも、製品でも、イベントでも、ネットのコミュニティ、ソフトウェアでもアートでも、なんでもかまいません。あなたがみつけた具体的ニーズを満たす具体的な企画を発想してください。

イメージしやすくするために例を示すと、たとえば

・被災者を支援するWebサービス

・ボランティア向けの情報紙の出版

・アイデア商品としての節電グッズの制作

・被災地で開催する映画の上映会

・寄付金を集めるためのチャリティイベント

・被災地の物産を販売するお店

・放射線情報をチェックする携帯サービス

など、それ以外でどんどん自由に幅広く考えてもらって結構です。

被災地の直接的な支援には限定しません。日本の明るい未来再創造に、優れたアニメ作品が必要だと思えば、そうした企画でもOKです。

次の３つのステップで企画書を制作してください。

**【STEP１】　メディアから「ニーズの声」をひろう**

勝手な想像ではなく具体的な声にもとづく企画を考えてほしい。だから最初に誰かの「声」やデータを引用してください。新聞・雑誌・Webニュース、ブログ、ツイッター、Facebook...紙でもネットでもよいです。メディアを広くみて、困っている人の叫びやこんなサービスがあったらいいのにという具体的な声を探してください。そして”声”やデータをテキストで引用してください。

**【STEP２】　あなたの企画書を書く**

指定のフォーマットにおいてあなたの考案した企画内容を簡潔に示してください。

**２つの条件**があります。

条件１：　デジタルテクノロジー、IT（情報技術）を活用した企画であること

条件２：　これまでにないユニークな企画であること

そして**３つの評価軸で成績評価**します。

１　ITの活用度や取り入れ方の巧みさ

２　発想の斬新さ、ユニークさ、広がりの可能性

３　企画の表現力（データや文章の説得力、キャッチコピーや図解）

**【STEP３】　企画に対する他者の感想をもらう**

企画は独りよがりではいけません。企画をそのサービス対象者や、友人知人や家族にみせて、意見をもらってください。ブログやツイッターに載せてコメントをもらってもよい。ここがいいねという褒め言葉、もっとこうしたらよくなるという改善案、これはこういう理由で使わないという厳しい指摘、なんらかの意見をもらってください。

**■提出**

企画書のフォームに従い、企画書を完成させて、Word形式で、デジキャンに提出すること。各パートの分量は自由に設定してよい。提出時に2ページ以上になるように記入する。分量が多くなるのは構わない。添付したいファイルがあればZIP圧縮するなどして一緒に提出してよお。氏名、学籍番号は忘れないこと。

提出時にはいまみなさんが読んでいる説明部分を削除する必要はありません。

**提出締め切り：2011年9月23日（金）**

理由のいかんにかかわらず遅れての提出は認めません。

提出用の企画書フォームはここからダウンロードできます。

<http://tvnews.jp/dhw2011/dhwrp2011report.docx>

提出は8月末よりデジキャンから可能になる予定です。

**■プライバシーポリシー**

みなさんに制作していただいた本課題の企画書は、Webや他のメディアで、デジハリ大学の取り組みとして、一部または全部を一般に公開する可能性があります。（もちろん公開する場合には大学を通してお知らせします。）

成果を公開する際のあなたのプライバシーポリシーを下記の選択肢のどちらかに○をつけて示してください。

１.成果を公開する時には匿名（イニシャルもしくはハンドル名）にしてほしい

　希望するハンドル名（ニックネーム）　【　　　　　　　　　　　　】

２.成果を公開する時には実名（フルネーム）にしてほしい

**2011年度デジタルハリウッド大学　「リサーチ＆プランニング」課題　企画書フォーム**

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 学籍番号 |  |

**【１　ニーズの声　具体的な声や統計データを引用する　出典元メディア名や著者名を明記して】**

**【２　企画内容　企画の本体を書く、描く】**

■企画の名称とキャッチコピー

**名称：**

**キャッチコピー：**

**企画の概要説明（簡潔な説明。誰に、何を、どのように提供するか。図解挿入も可。）：**

**■企画の詳細（詳しい説明および図解など）：**

**【３　他者の意見　この企画を誰かに見せて意見をもらう。誰の意見か明記】**